

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人
薫風会

目 次

令和 6 年度 事業報告書

項目	拠点名	頁
1	本部	1
2	風の家	5
3	認定こども園ICHIGO	19
4	ANNESSO ICHIGO	35
5	認定こども園SAKURANBO	43
6	かぜの子保育園	55
7	事業報告の附属明細書	61

1 法人本部

(1) 経過報告

年	月	日	内 容
6	5	30	監事監査
	6	24	資産の総額の変更登記
	7	10	一般指導監査（書面監査）（認定こども園SAKURANBO）
	8	2	立入調査（かぜの子保育園）※北九州市保育課
		8	一般指導監査（認定こども園ICHIGO及びANNEX ICHIGO）
			一般指導監査（書面監査）（ANNESSO ICHIGO）
	10	22	衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の不在者投票実施（風の家）
		30	一般指導監査の実施（特別養護老人ホーム風の家）
			運営指導（特別養護老人ホーム風の家、風の家ショートステイ）
	12	4	企業主導型保育施設に対する指導・監査（かぜの子保育園） ※（公益財団法人）児童育成協会
7	3	18	福岡県知事選挙の不在者投票実施（風の家）

(2) 理事会の開催

年	月	日	議 案
6	6	12	1 積立金の積立について
			2 令和5年度事業報告について
			3 令和5年度決算について
			4 令和5年度監事監査報告について
			5 令和6年度補正予算について
			6 馬主協会助成金申請について
			7 定時評議員会の招集について
	7	31	1 特別養護老人ホーム風の家及び風の家ショートステイ 運営規程の一部改正について
			2 風の家給与規程の一部改正について
			3 業者選定委員会の設置について
7	3	19	1 社会福祉法人薫風会 理事会運営規程の一部改正について
			2 社会福祉法人薫風会 経理規程の一部改正について
			3 役員等賠償責任保険契約について

年	月	日	議 案	
7	3	19	4	特別養護老人ホーム風の家及び風の家ショートステイ 運営規程の一部改正について
			5	風の家 就業規則及び準職員就業規則の一部改正について
			6	風の家 育児・介護休業規程の一部改正について
			7	認定こども園ICHIGO、認定こども園SAKURANBO、ANNEX ICHIGO 及びANNESSO ICHIGO 運営規程の一部改正について
			8	認定こども園ICHIGO、認定こども園SAKURANBO、ANNEX ICHIGO 及びANNESSO ICHIGO 保育業務及び職員行動規程の制定について
			9	認定こども園ICHIGO、認定こども園SAKURANBO、ANNEX ICHIGO 及びANNESSO ICHIGO 給与規程の一部改正について
			10	認定こども園ICHIGO、認定こども園SAKURANBO、ANNEX ICHIGO 及びANNESSO ICHIGO 旅費規程の一部改正について
			11	令和6年度積立金の取崩し、目的外使用及び積立てについて
			12	風の家 借入金の新規借入れについて
			13	令和6年度補正予算について
			14	令和7年度事業計画について
			15	令和7年度積立金の取崩しについて
			16	令和7年度予算について
			17	評議員会の招集について

(3) 評議員会の開催

年	月	日	議 案	
6	6	27	1	積立金の積立について
			2	令和5年度事業報告について
			3	令和5年度決算について
			4	令和5年度監事監査報告について
			5	令和6年度補正予算について
7	3	29	1	令和6年度補正予算について
			2	令和7年度事業計画について
			3	令和7年度予算について

(4) 法人運営会議の開催

開催日			主な案件
6	4	25	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2 理事会及び評議員会（6月開催）の議案等
			3 弁護士との顧問契約について
	5	24	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2 理事会及び評議員会（6月開催）の議案等
	6	28	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2 理事会（7月開催）の議案等
	8	23	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	9	26	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	10	24	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	11	27	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2 地域児童福祉事業等調査について
			3 法人・施設パンフレットの作成についてについて
7	12	25	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2 児童発達支援事業所及び障がい施設等について
	1	22	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	2	26	2 理事会及び評議員会（3月開催）の議案等
			1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）

(5) 令和6年度事業計画の達成度

ア 令和6年度基本方針に関して

(ア)「事業所の運営管理体制の強化」について

各事業所の施設長及び園長は、職員が法人・施設の理念を基に援助行動ができるように、適時、適切な指導及び助言を行った。利用者及び園児各人の尊厳をまもり快適な環境下での暮らしづくりに貢献できた。

また、企業主導型保育事業を業務委託したが、入園児の確保に苦戦しつつも、徐々に増えている状況である。当法人の二つの認定こども園と小規模保育事業とも連携し、事業の転換や改編等も模索している。

(イ)「適正な人事・労務管理」について

各事業所の施設長及び園長は、事業所内で起きている諸問題について適切に把握し対処した。社会保険労務士からの指導及び助言等を受け、介護職員及び保育職員の適切な福利厚生を充実させた。

また、各種ハラスメントやメンタルヘルスケア等への対応も適切に行った。

(ウ)「リスク管理」について

さまざまな自然災害や感染症等の発生に対する研修会の開催や各種マニュアル類の整備をし、訓練を重ね万全な体制を維持した。今年度は、大きな問題はなかった。

(エ)「財務管理」について

介護事業及び子育て支援事業ともに堅調な予算執行（補整予算含む。）をし、資金残高を積立金に回すことができた。

(オ)「地域福祉への貢献」

永犬丸・里中及び本城・御開地域を中心に地元の自治区会、校区まちづくり協議会及び市民センター並びに各ボランティア団体などと良好な関係を継続している。

地域の方々へ「介護食」の提供や学童保育の実施などは、未実施となり今後課題を残すこととなった。

イ 令和6年度事業内容に関して

理事会、評議員会及び監事監査並びに法人運営会議の実施については、適宜開催することができた。

また、年末交流会については未開催となったが、永年勤続表彰を例年どおり行い、さらには、準職員含む全職員へささやかながらプレゼントを行なった。

2 風の家

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
6	5	28	防災訓練（地震・津波・高潮）	認定こども園SAKURANBO・かぜの子保育園と合同訓練
	6	12	消防立入検査	消防署からの定期的な立ち入り検査（問題なし）
	7	29～31	職員健康診断	全職員対象健康診断を実施
	9	17	防災訓練	昼間想定の訓練を実施
	10	7	Sコール訓練	無断退去者発生を想定した訓練を実施
		16	秋まつり	施設全体で秋まつりを実施
		22	不在者投票	衆議院選挙の不在者投票を実施
		30	一般指導監査・運営指導	老人福祉法及び介護保険法に基づくもの
7	12	17	防災訓練	夜間想定の訓練を実施。
	1	20	不在者投票	北九州市市議会議員選挙の不在者投票を実施
		27～29	職員健康診断	夜勤勤務をする職員対象健康診断を実施
	2	18	防災訓練	夜間想定の訓練を実施。
		29～31	職員健康診断	夜勤勤務をする職員対象健康診断を実施
	3	18	不在者投票	県知事選挙の不在者投票を実施

イ 見学者（1件）

年	月	日	見学者（団体名）	内容
6	11	11	山内閑子（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 SONPOー産総研 RDP連携研究ラボ）	移動用リフトの活用状況に関する調査

（集計）

（単位：件）

団体区分	特養	他施設	地域住民	学校	行政	その他	合計
件数	0	0	0	0	0	1	1

（単位：件）

見学目的	施設新設	ユニットケア	全般	その他	合計
件数	0	0	0	1	1

ウ 地域交流（１０件）

年	月	日	概要	内容
6	6	14	まちづくり協議会総会	総会に職員が参加
		27	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
	7	14	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	8	22	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
	9	15	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	10	17	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
	11	15	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	12	12	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
7	1	12	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	2	13	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席

エ 施設外研修（１３件、延べ４４人）

（単位：人）

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	開催場所	主催者	人数
6	4	16	aamsと寿の連携、ICTを活用したケアの実態	介護情報システムと見守り機器の連携や今後の課題などの情報交換	やすらぎの郷 牧山	光洋	7
	6	20	高齢者施設の感染対策	高齢者施設の感染対策	WEB研修	新水巻病院	2
	7	29	介護事業所の為の問題社員への法的対応の実務	問題のある社員への法的対応方法について	WEB研修	デイライト法律事務所	1
		30	カスタマーハラスメント対策研修	利用者、家族からのハラスメントの対処方法	WEB研修	北九州社会福祉研究所	1
	8	20	応急手当普及員更新研修	救命時の対処、指導方法を学ぶ	小倉防災センター	北九州市防災協会	2
	9	4	生産性向上フォローアップセミナー2024	生産性向上ガイドラインを活用した業務改善の考え方	WEB研修	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 経営研究所	3
	10	31	応急手当普及員更新研修	救命時の対処、指導方法を学ぶ	小倉防災センター	北九州市防災協会	1

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	開催場所	主催者	人数
6	10	23	生産性向上フォローアップセミナー2024	取組の振り返り 実行計画の見直しと成果 の取りまとめ方 業務改善の壁の乗り越え 方	WEB 研修	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 経営研究所	3
	11	6	排泄リーダー育成セミナー	あて方実践研修	WEB 研修	光洋	4
	12	16	CAREKARTE リモートスタディー	CEREKARTE稼働前研修	WEB 研修	ケアコネクト ジャパン	15
7	1	17	生産性向上フォローアップセミナー2024	成果報告	WEB 研修	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 経営研究所	3
	2	10	応急手当普及員更新研修	救命時の対処、指導方法を学ぶ	小倉防災センター	北九州市 防災協会	1
		14	障害者雇用納付金制度事務説明会	納付金制度の説明 電子申請方法の説明	小倉KMMビル	高齢・障害者 求職者雇用支援 機構	1

オ 施設内研修（27件、延べ1,115人）

（単位：人）

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	人数
6	4	複数日	感染症について	感染症の基礎知識	54
		11	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止の訓練	感染症対策について訓練	32
		複数日	感染症BCP研修	BCP（感染症について）	64
		11	感染症BC訓練	感染拡大時、BCP発動時の訓練	41
	5	複数日	倫理及び法令遵守について	倫理及び法令遵守について	60
		複数日	災害時BCP研修	BCP（災害時について）	62
		28	災害時BCP訓練	災害時、BCP発動と自動参集訓練	32
	6	複数日	身体拘束・虐待について	虐待の基礎知識・身体拘束について	64
	7	複数日	ターミナルケア	ターミナルケアに関する研修	55
		29	災害時BCP訓練	災害時の訓練（机上）	15
	8	複数日	精神的ケアに関する研修（グリーフケア）	看取りから初期処置までグリーフケア	70
	9	複数日	医療に関する研修・褥瘡	高齢者の特徴・褥瘡について	72
	10	複数日	BCP研修（災害・感染症）	自然災害・感染症BCPの立て方	15
	11	複数日	感染症について	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止	40
		複数日	BCP研修（感染症）及び訓練	感染拡大時の業務縮小	43
		複数日	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止の訓練	吐物の処理方法、感染予防策	44

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	人数
6	12	複数日	事故発生と再発予防	転倒事故、予防、記録方法	38
7	1	複数日	身体拘束・虐待について	虐待について	38
		15, 16, 20	ハナスト活用研修	ハナストの使用方法	101
	2	複数日	認知症について	認知症とは	40
	3	複数日	緊急時の対応、リスクマネジメント	介護における緊急時とは	65
		複数日	喀痰・吸引について	喀痰・吸引とは、体位ドレナージ	45
6	6	6	新人研修	・労働条件等説明 ・感染症、食中毒について ・喀痰吸引、胃ろうについて ・法人、施設運営理念 ・身体拘束、高齢者虐待について ・ノーリフティング	2
	8	5			6
	9	5			7
	12	19			4
	7	1			6

カ 実習生の受け入れ状況（2件3人）

（単位：人）

職種	学校名	受け入れ施設	人数
社会福祉士	福岡県立大学	特別養護老人ホーム	1
医師（医学概論実習）	産業医科大学	特別養護老人ホーム	2

介護等体験（0件0人）

職種	学校名	受け入れ施設	人数
教員	—	—	—

(2) 施設の利用状況

ア 特別養護老人ホーム（利用定員：140人）

（ア）在籍者数（年間目標在籍者数：138人）

（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
新規入所者数	4	2	1	3	1	5	3	1	0	3	1	4	28	2.3
退所者数	2	3	0	2	4	4	3	0	0	3	2	3	26	2.2
平均在籍者数	135.0	135.0	135.0	136.6	135.8	133.1	135.3	136.0	136.0	136.9	136.1	135.5	1,628	135.7

（イ）新規入所者の状況

状況	人数	（単位：人）
自宅から	9	
SS長期利用後	3	
老健から	5	
病院から	8	
有料その他	3	
計	28	

（ウ）退所者の状況

状況	人数	（単位：人）
施設にて死亡	18	
病院にて死亡	2	
長期入院	4	
その他	2	
計	26	

（エ）平均在所者数（年間目標在所者数：135人）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	131.7	132.5	134.3	134.9	132.5	130.6	133.7	133.7	132.4	131.3	133.0	133.4	132.8

※在籍者より、外泊者を除いた数

（オ）1日平均外泊者数

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	3.3	3.5	1.7	1.8	3.3	2.5	1.5	2.2	3.6	5.6	3.1	2.1	2.9

（カ）外泊者数のうち入院者数

（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入院者実数	7	10	5	5	5	7	6	6	11	9	5	6	6.8
1日平均入院者数	3.3	3.5	1.7	1.8	3.3	2.5	1.5	2.2	3.6	5.6	3.1	2.1	2.9

（キ）平均年齢及び平均介護度（年間平均）

平均年齢：87.3歳

平均介護度：3.7

イ ショートステイ (利用定員：10人)

(ア) 1日平均利用者数 (年間目標平均利用者数：7.5人) (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1日平均利用者数	7.5	7.7	7.8	6.5	6.5	4.9	6.0	6.0	4.5	5.2	6.0	6.4	6.3
1日平均入所数	1.2	1.4	1.4	1.4	1.2	1.1	1.3	1.2	1.3	1.3	1.4	1.7	1.3
1日平均退所数	1.3	1.3	1.5	1.5	1.1	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.5	1.6	1.3
1日平均宿泊数	6.1	6.4	6.2	5.1	5.4	3.7	4.7	4.7	3.1	3.9	4.5	4.8	4.9

(イ) 月間利用者数 (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
新規利用者数	2	4	2	1	4	4	4	2	1	2	3	14	3.6
月間利用者数	20	26	24	22	21	20	24	24	19	22	23	32	23.1

(ウ) 平均年齢及び平均介護度 (年間平均)

平均年齢：87.2歳

平均介護度：2.7

(エ) 曜日別利用者数

(単位：人)

区分	月	火	水	木	金	土	日
利用者数	6.7	5.0	5.4	6.1	6.5	6.9	7.0
入所	1.3	1.3	0.9	1.7	1.8	1.6	0.7
退所	3.0	0.4	1.0	1.4	1.3	0.7	1.6
宿泊数	3.8	4.6	4.3	4.8	5.3	6.2	5.4

(オ) 月間利用日数別人数

(単位：人)

日数	1日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日～25日	26日以上
人数	13.0	3.9	2.2	1.8	1.1	1.2

(カ) 月間利用回数別人数

(単位：人)

回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回以上
人数	14.2	3.5	1.5	1.4	2.0	0.5	0.0

(キ) 地区別人数

(単位：人)

地区	八幡西	若松	八幡東	中間	水巻町	遠賀町	戸畑	他
人数	15.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立 (10件)

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
6	5	特別養護老人ホーム	ご家族	面会中（ご利用者が）喉が渴いたというので水を上げたら、いきなり職員が入ってきて「飲食禁止だから」とコップを取り上げた。感染対策のために飲食が禁止されているのは知っていたが、対応がきつすぎる。	当該職員に、対応について指導を行った。面会中の水分摂取のルールについて、面会者がマスクをした上で行う水分摂取は可能と変更を行った。	納得いただいた。
		特別養護老人ホーム	ご家族	（面会中はドアを開けておくルールがあるが）ドアを締めて面会していたら、いきなり職員が来て何も言わずに開けていった。また、そのことを父（ご利用者）に注意するのは辞めてほしい。	当該職員に、対応についての指導を行った。ご利用者に対しても謝罪した。	納得いただいた。
	6	特別養護老人ホーム	ご家族	胃ろう交換のための受診の日程の連絡がないまま、職員のみで受診し、同意書のサインも職員がしていた。受診には同行し、医師に直接確認したかったこともあるのに不満である。	当該職員を指導。施設全体の職員会議でも取り上げ、受診の報告等は必ず、速やかに行うことを確認した。	納得いただいた。
		特別養護老人ホーム	ご家族	事故報告の連絡が当日中になかった。	当日中に連絡したが不在だった。翌日再度連絡するというルールが不徹底だったため、ルールの徹底を指導した。	納得いただいた。
	8	特別養護老人ホーム	ご利用者	味噌汁がおいしくない	給食で味噌汁の出汁の追加を行った。	おいしくなったと言われた。

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
6	8	特別養護老人ホーム	ご家族	カンファレンスの日程調整について、①本人としばらく会っていないので、記録を送ってほしい。それをみて要望を送ると言っていたのに、連絡がないままだった。②8月中に行うべきカンファレンスの日程調整を8月20日に連絡が来て、候補日も2日間しかなかった。選択肢が少ないのではないか。③電話の対応が悪い。	当該職員を指導。施設全体で電話対応を丁寧にすることを確認した。	納得いただいた。
6	9	特別養護老人ホーム	入所者	①施設内で採血をされた時、「血を採りますよ」との声かけのみで何の説明もなかった。②採血結果もこちらが請求するまでもらえなかった。③結果を確認したら、自分は男性なのに、性別女性となっていた。あてにならないと思った。	様々な件について、ご利用者本人ではなくご家族と話することが普通となっていたが、ご利用者本人への説明等の重要性を再確認した。この件については看護職員に指導を行い、嘱託医に性別間違いについてご本人への謝罪を要求した。	しぶしぶ了承された。その後、時間の経過とともに納得いただけるようになった。
6	11	ショートステイ	入所者	職員に対し、「入浴介助の仕方がなっていない。」と言ったら、職員から「奥様や娘さんは入れてくれないのですか」と言われ、悲しい思いをした。	当該職員に対し、ご利用者の気持ちに配慮した対応を行うよう指導した。	納得いただいた。

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
7	1	特別養護老人ホーム	ご家族	①職員から靴を購入してほしいと電話で言われたので、サイズを尋ねると「わかりません」と言われた。離れている家族はもっとわからないのにと不信感を抱いた。②翌日面会に行くと数年前入所した時に持ってきた靴が箱にはいったまま2足あった。それを見た職員が「汚い靴は向こうに持っていくますね」と言った。その汚い靴を履かせられていかたと思うと本人が不憫に思え嫌な気持ちになった。	当該職員に対し、依頼の経緯に不備があること、汚れた靴を履いてもらっていたことはこちらが謝罪すべきことであることを伝え、反省を促した。	納得いただいた。
7	1	ショートステイ	ご家族	職員から、「(ご本人が) 落ち着かないのでいったん連れて帰って(自宅に泊まる) くれ」と突然言われて困ってしまった。家で見れない事情があつて預けていることを理解してほしい。	ご家族が対応可能な日曜日の外出をお願いすることにした。当該部署職員全体に、ご家族の都合も十分考慮すること、落ち着かないご利用者もあきらめず対応すること、と指導した。	納得いただいた。

イ 第三者委員への苦情申立 なし

ウ 行政への苦情申立 なし

エ 意見箱にいただいた意見 (2件)

年	月	内容	回答
6	4	面会時に利用する2階にある椅子は重くて運ぶのに大変です。1階の面会室にあるパイプ椅子を面会時に使用できるように2～3脚準備をしてほしい。	通常面会時は職員が椅子を居室に運んでいるが、職員が見当たらず困られたということを確認。職員が見当たらない際はナースコールで呼んでほしい。
	11	お部屋のエアコンのフィルターの掃除をお願いします。	11月23日にフィルターの定期クリーニングを行いました。

(4) 事故報告

ア 総件数 (単位：件)

分類	件数
事故総数	394
うち損害あり	182
うち行政報告あり	22

イ 事故の内容 (単位：件)

内容	事故	インシデント	合計
転倒	88	4	92
転落	72	0	72
異食	1	1	2
不明	1	0	1
誤薬・与薬もれ等	43	28	71
誤嚥・窒息	2	1	3
医療処置関連 (チューブ抜去)	4	0	4
感染症(インフル エンザ等)	1	0	1
食中毒	0	0	0
交通事故	0	0	0
徘徊	10	21	31
接触	88	0	88
職員の違法行 為・不祥事	0	0	0
事業所の災害被災	0	0	0
その他	22	7	29
合計	332	62	394

ウ 事故結果 (単位：件)

内容	件数
異常なし	212
打撲・捻挫・脱臼	77
切傷・擦過傷	76
骨折	14
その他	15
合計	394

エ 行政報告事故(22件)の詳細

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
6	4	1	転倒	骨折(左鎖骨)	整形外科受診。左半身麻痺があるため固定はせず湿布・鎮痛剤処方
		3	転落	抜歯(右奥6番目)	歯科往診にて抜歯、抗生剤・鎮痛剤の処方
	5	17	転落	打撲(右腕)	整形外科受診、湿布処方
	6	9	転倒	骨折(左肋骨)	整形外科受診、胸部バンド固定・鎮痛剤処方

年	月	日	事故の種類	被害の状況	対応及び結果
6	7	25	転倒	骨折（左大腿部・8肋骨骨折）	整形外科受診、胸部バンド固定・湿布処方翌日入院
		26	転倒	骨折（右肋骨） 左下肢擦過傷	整形外科受診、安静にて対応 下肢処置実施
	8	11	転倒	打撲（右肩）	整形外科受診、痛み止め処方
		20	誤嚥・窒息	死亡	救急搬送、入院後死亡
	9	12	接触	抜爪	皮膚科受診、抜爪・鎮痛剤処方
		15	接触	打撲（右肘）	整形外科受診、鎮痛剤・湿布処方
		16	転倒	裂傷（後頭部）	総合病院受診、圧迫止血（縫合なし）
		19	転倒	骨折（左大転子部）	総合病院救急搬送、緊急手術
		22	転倒	骨折（左大腿骨）	総合病院救急搬送、緊急手術
		26	接触	骨折（左大腿骨）	総合病院救急搬送、手術
	10	27	接触	左大腿部頸部骨折	総合病院救急搬送、手術
	11	4	不明	右大腿骨転子部骨折	総合病院救急搬送、保存治療
		16	転倒	左第5肋骨骨折	総合病院救急搬送、手術
	12	3	接触	左膝骨折	整形外科受診、鎮痛剤処方
		9	転倒	肋骨骨折	整形外科受診、鎮痛剤処方・コルセット
		20	誤嚥・窒息	誤嚥性肺炎 肋骨骨折	総合病院受診、入院
		31	転倒	左大腿転子部骨折 顔面裂傷	総合病院救急搬送、手術
7	2	13	転倒	左半身の疼痛	かかりつけ医受診→総合病院受診、入院

(5) 令和6年度事業計画の達成度

ア 令和6年度基本方針に関して

(ア)「介護の質の向上」について

前年度以前からの継続テーマである、「基本理念の理解、共有」、「利用者の“気持ち”に重点を置いたケア」、「職員の達成感獲得への支援」、「情報共有の充実」については、令和6年度においても施設運営の中で最も重要な課題と位置づけ、勉強会や現場指導を通じて取り組みを続けた。

ノーリフティングケアについては、令和6年度も、「福岡県ノーリフティングケア普及促進事業」のアドバイザー施設としての活動を継続した。

また、令和4年度から行っている「北九州モデル」(ICT化・介護ロボット等を活用した介護現場の業務改善手法)に基づいた業務改善の一環として、令和6年度は介護助手の導入を行った。これにより、介護職員が利用者への援助に専念できる体制は整備したが、介護助手の業務の統一や介護職員の空いた時間の活用など課題が残っているので、令和7年度以降も継続して取り組んでいく。

(イ)「家族対応の充実」について

新型コロナウイルス感染症対策の面会制限のうち、時間帯や1回当たりの面会時間の制限を撤廃し、少しでもご家族とご利用者がともに過ごせる時間の確保に努めた。それに伴い、ご家族と職員の距離も少しずつ近づいてきたと思われ、令和5年度に比べ苦情の件数も減少した。

(ウ)「食事サービスの充実」について

少しでもおいしい食事を提供できるよう工夫を続けた。また、季節に合わせた行事食の提供も続けた。

(エ)「感染症対策の充実」について

手洗い・手指消毒・換気に重点を置いて、感染予防を継続した。今後、新型コロナウイルス感染症だけでなく、他の感染症も視野に入れ、平常時の感染対策を継続していきたい。

(オ)「管理体制の充実」について

老朽化対策として外壁塗装等の大規模修繕を行った。

また、令和5年度までに整備した業務継続計画に基づく研修や訓練を行った。

(カ)「経営の効率化」について

令和6年度介護報酬改正で新設された加算を精査し、できる限りの加算の算定を行った。

テクノロジーの活用として、記録ソフト・ナースコールの入替え、インカムの導入を行った。これにより、記録時間の短縮など職員の負担を軽減することができつつある。

職員の負担軽減及び利用者の満足度増加のため、令和7年3月に介護用浴槽の新設を行った。

(キ) 施設からの情報発信

HP（ホームページ）やSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を通じて、施設の考え方、日常の風景などの発信を継続した。

イ 令和6年度事業内容に関して

(ア) 特別養護老人ホーム

a 年間利用者数について

1日平均在籍者数目標を138名、1日平均在所者数（外泊等を除く数）目標を135名に設定していたが、実際には、1日平均在籍者135.7名、1日平均在所者132.8名と、昨年よりは平均在籍者1名分、平均在所者1.5名分増加したが、目標達成はできなかった。

退所者数を超える新規入所者数はあったが、令和5年度に減少した在籍者数を埋めることができないまま年度を終えることになった。

また、年々申込者数自体が減少してきている。市内の特養の数が増えていること、有料老人ホームが増えていることで、入所者の獲得競争が激しくなっている現状がある。この対策として、24時間看護職員が常駐する体制を整備し、医療ニーズの高いご利用者の受け入れを積極的に行うこととした。

b 事業内容について

令和6年度は、介護助手の導入、記録ソフト等の入替え、介護用浴槽の新設などを行い、職員が利用者と向き合う時間を少しでも増やす工夫を続けた。また、新型コロナウイルス感染症対策による制限も少しずつ撤廃し、利用者の日常的な楽しみや季節感のある行事の復活に取り組んだ。

(イ) ショートステイ

a 年間利用者数について

平均利用者数 7.5 名、稼働率 75 % を目標値に掲げたが、実際には平均利用者数 6.3 名と目標を大きく下回り、昨年度の実績からも 0.9 人分減少した。

令和 6 年 7 月にロングショート利用者 2 名が特養に入所になったことで利用者数が減少し、その後も空床分を埋められなかったことが影響している。

しかし、居宅支援事業所との連絡を密にするなどの工夫で令和 7 年 3 月は新規利用者数 14 名と回復の兆しがみられるため、さらなる工夫を行い、目標達成に向かいたい。

b 事業内容について

新型コロナウイルス感染症の影響も徐々に薄れ、コロナ以前のように、利用者の日常的な楽しみを増やすことに力をいれることができた。サービス担当者会議も自宅で開催されることが多くなり、ご家族や居宅支援事業所のケアマネとの情報交換や共有も進んだ。

4 認定こども園ICHIGO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
6	4	1	辞令交付式	4月1日付採用職員に対する辞令交付式（コロナの為、事務局長来園）
	8	8	ICHIGO・ANNEX ICHIGO指導監査	北九州市子ども家庭局による指導監査（合同）

イ 行事

年	月	日	行事	内容
6	4	1	入園進級式	園児のみで開催
		17	春の遠足	5歳児・4歳児 いのちの旅博物館（バス遠足） 3歳児・2歳児（I/A）園内にてお楽しみ会 1歳児（I/A）・0歳児（I/A）園内にてお楽しみ会
		27	ICHIGOキッズ Festival	ゲーム：くじ引き・魚釣り・わなげ・ボール投げ 飲食物：カレー・ポテト・飲み物 ステージにて出し物を行い、祭り気分を味わう
	5	21	クッキング	3歳児 ピザトーストを作り、楽しむ
		29	ギラヴァンツ サッカー教室	サッカーを通して体を動かす楽しさやルールを学ぶ （4・5歳児）
	6	10	歯科検診	4歳児・5歳児対象 加来歯科医による検診を行う
		13	園児対象 健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 ANNEX・0歳児・1歳児・2歳児の健康診断を行う
		20	園児対象 健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 3歳児・4歳児・5歳児の健康診断を行う
	7	6	歯科検診	4歳児・5歳児対象 加来歯科医による検診を行う
		5	七夕まつり 笹飾り	七夕の由来を説明し、笹飾りに願い事をする
		27	運動会	ICHIGO・ANNEX合同で未満児のみICHIGOのホールにて運動会を行った
8	5		プール開き	全園児で集まり、プール活動での約束事を確認し予定表通りプール活動をする

年	月	日	行事	内容
6	8	9	お泊り保育 (5歳児)	スペースLABOへバスで遠足に行く プール、制作、シャワー、夕食を済ませ、お楽しみ 会に参加する。
		10		園庭で打ち上げ花火を見て就寝
	9	9	水かけまつり	ANNEX…ANNEX園庭 ICHIGO 0歳児・1歳児…テラス ICHIGO 2・3・4・5歳児…屋上 時間を分け、熱中症に注意しながら行う
		17	敬老の日	年長児が敬老の日のプレゼント理事長へを渡す
	10	3	健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 0歳～2歳児（ANNEX含む）までの健康診断を行う
		11	秋の遠足	5歳児・4歳児・3歳児 割子川せせらぎ公園 2歳児(A) ANNESSO ICHIGO 1歳児(A)・0歳児(A) 永犬丸中央公園
		12	健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 3歳～5歳児までの健康診断を行う
		24	ハロウィン	仮装をし、各クラスを巡回して記念撮影を行う
		31	芋ほり	5歳児が芋ほりを行う
	11	15	七五三	七五三の由来を聞き、飴を持って帰る
		16	お遊戯会	クラス入れ替え制で0～2歳児・ANNEX合同で行う
		20	焼き芋パー ティ	芋ほりした芋を、畑で焼き芋にする
		22	人形劇	「からこま座」の方が来て全園児が人形劇を観る
	12	14	お遊戯会	クラス入れ替え制で3～5歳の演目を行う
		17	お茶会	年長児のみ参加（桜井先生・淳子先生）
		25	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行った
7	1	16	クッキング	食育の一環として、4歳児・5歳児が豚肉と野菜のホ イル焼きを作り、食べた
		一	個人懇談	希望制にて懇談を行う

年	月	日	行事	内容
7	2	3	節分（豆まき）	折尾神楽が来園し、各クラスで豆まきをした
		8	保育参観	全園児が作った商品を年長児が販売し、各クラス順番に買い物ごっこを楽しむ。 5歳児 新聞紙遊び 4歳児 制作（コマ） 3歳児 制作（買い物バック） 2歳児 制作（お面）新聞紙遊び 1歳児 風船遊び 0歳児 ふれあい遊び A2歳児 制作（洋服）ファッションショー A1歳児 制作（ギロ） A0歳児 制作（太鼓）
	3	1	運動会	3/4/5歳児の運動会を的場池体育館で行った
		3	ひなまつり	ひな人形について話をし、各クラス制作したひなまつり制作を発表する。
		5	お別れ遠足	到津の森公園に行き動物に触れあい、お弁当を食べた
		15	卒園式	プレイルームで卒園式を行った
		19	キラヴァンツ サッカー指導	サッカーを通して体を動かす楽しさやルールを学ぶ（4・5歳児）
		21	お別れ会	在園児と卒園児とのお別れ会を行った
		31	修了式	在園児の修了証書授与式を行った

※定例行事

毎月 1 回実施 避難訓練・誕生会

硬筆(年 2 4 回実地)英語で遊ぼう(年 2 4 回実地)体操教室(年 3 0 回実地)

毎週 2 回 リーダー会議 毎月1回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

ウ 地域交流等

(ア) ボランティア・職場体験・一日保育士体験

年	月	日	行事	内容
参加なし				

(イ) 地域交流

- a 一緒に遊びましょう 5月～2月、月1回実施
- b 園庭開放 5月～2月、月1回実施
- c 地域清掃 毎月1回(第2土曜日)

(ウ) 家庭学級

年	月	日	行事	内容
行事が延期になったため、開催見送り				

(エ) 実習生

- a 保育実習 8月(3名) 2月(3名)
- b 看護実習 6月(5名) 9月(13名)

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
6	4	22	第一回子どもの言葉を豊かにする研究研修会	言葉の到達度を知り話し合う	アートホテル小倉ニュータカワリ	北九州市保育士会	1
	5	8	マネジメント研修	実習指導に通じた保育の質の向上と組織マネジメント1回目	アートホテル小倉ニュータカワリ	北九州市保育士会	1
		21	乳児保育研修	乳幼児期の発達と保育内容	ホテルラウンパレス北九州	北九州市保育士会	1
		27	乳児保育研修	乳幼児の発達に応じた保育内容	ウエル戸畑	北九州市社会福祉研修所	1
		29	リーダー研修	防災について～BCPの作成と備え	アートホテル小倉ニュータカワリ	北九州市保育士会	1
		30	乳児保育研修	乳児への適切な関わり	web(ZOOM)	北九州市社会福祉研修所	1
	6	5	第66回全国保育研究大会	つながろう！みんなが輝く未来へ～だいじだいじありのまま～	ライトキューブ宇都宮	全国私立保育連盟・栃木私立保育連盟	1
		6					1
		7					1
		11	乳児保育研修	乳幼児の発達に応じた保育内容	web(ZOOM)	北九州市社会福祉研修所	1
		18	乳児保育研修	子どもの発達に合わせた環境や援助の在り方～今何が育ちつつあるのか～	アートホテル小倉	北九州市保育士会	1
		20	主任研修	情報交換や意見交換	筒井市民センター	北九州市保育士会	1
		26	乳児保育研修	乳児保育の指導計画、記録及び評価	web(ZOOM)	北九州市社会福祉研修所	1
	7	6	2024 指導者研修会	フープ体操・旗体操＋組み立て体操・初心者の縄跳び	北九州パレス	北九州市私立保育所連盟	2

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
6	7	11	第8回九州保育三団体 研究大会	すべての子どもの権利と育ちを保証して いく社会の実現をめ ざして	熊本城ホール	九州保育三団 体高議会	1
		12					1
		23	障害児保育研修	障害児保育の現状	ウェルとばた	北九州市社会 福祉研修所	1
		24	令和6年度第一回給食 献立伝達研修	食育の推進について	ウェルとばた	北九州市	1
		29	相談員研修	電話相談について～ 電話相談を受けるに あたって～	クラウンパレス小 倉	北九州市保育 士会	1
		29	第1回全私保連青年会 議・日保協青年部合同 研修会	はじまりは石川から ～がんばろう能登～	金沢市アートホ ル	公益社団法人 全国私立保育 連盟青年会 議・社会福祉 法人日本保育 協会青年部	1
		30					1
	8	2	障害児保育研修	障害のある子どもへ の支援の実際につい て	ウェルとばた	北九州市社会 福祉研修所	1
		2	保育施設等における 不適切保育防止に関 する研修会	保育施設等における 不適切保育防止につ いて	web(ZOOM)	福岡県・ 福岡県保育協 議会	1
		8	障害児保育研修	発達が気になる幼児 への理解と発達支援	クラウンパレス小 倉	北九州市保育 士会	1
		20	第2回給食部会	食事に関する研究研 修会の献立決め	筒井市民セン ター	八幡西区保育 士会	1
		21	障害児保育研修	事例検討にあたって	ウェルとばた	北九州市社会 福祉研修所	1
		22	幼児教育研修	子ども家庭庁の仕組み について、幼児の発達 に応じた新聞づくり	アートホテル小倉 ニュータカリ	北九州市保育 士会	1
		26	マネジメント研修	実習指導に通じた保 育の質の向上と組織 マネジメント2回目	アートホテル小倉 ニュータカリ	北九州市保育 士会	1
	9	3	障害児保育研修	インクルーシブ保育 について	アートホテル小倉 ニュータカリ	北九州市保育 士会	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
6	9	4	第43回公益社団法人 全国私立保育連盟青年会議	COREこどもたち、ど 真ん中	京王プラザホ ル	公益社団法人 全国私立保育 連盟青年会議	1
		5					1
		6					1
		10	子どもの言葉を豊かに する研究研修会	言葉の実践記録を討 議する	レインボープラザ	北九州市保育 士会	1
		12	保護者支援・子育て 支援研修（基）	保育内容の研究	レインボープラザ	北九州市社会 福祉研修所	1
		17	幼児保育研修	幼児の発達に応じた 保育内容	ウエル戸畑	北九州市社会 福祉研修所	1
		19	保護者支援・子育て 支援研修（基）	保育のリスクを考え る	ウエル戸畑	北九州市社会 福祉研修所	1
	10	18	幼児保育研修	幼児教育の意義	ウエル戸畑	北九州市社会 福祉研修所	1
		22	幼児教育研修	小学校との接続	ウエル戸畑	北九州市保育 士会	1
		23	主任研修会	わらべうた遊び	筒井市民セン ター	八幡西区保育 士会	1
		25	幼児保育研修	小学校との連携	ウエル戸畑	北九州市社会 福祉研修所	1
	11	3	第62回北九州市保育 研修大会	すべての人が子ども と子育てに関わりを 持つ社会の実現をめ ざして	北九州サレユ ホール	北九州市	9
		11	第2回給食献立伝達研 修会	実習献立説明・調理 実習・試食・評価	ウエル戸畑	北九州市	1
		21	九州保育三団体青年 部協議会研修会	自然体 ～達人に学ぶ遊び場 づくり～	熊本ホテルキャッ スル	九州保育三団 体青年部協議 会	1
		22					1
		22	令和6年度児童虐待問 題市民講座	北九州市の児童虐待 防止の取り組みにつ いて	web (youtube配 信)	北九州市	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
6	12	5	第3回給食部会	8月～11月 献立反省	筒井市民センター	八幡西区保育士会	1
		16	保護者支援・子育て支援研修（基）	保護者に対する相談援助の方法と技術	ウエル戸畑	北九州市社会福祉研修所	1
		18	令和6年度保育所（園）調理員研修	子どもの食育と栄養	ウエル戸畑	北九州市社会福祉研修所	1
		19	第62回北九州市保育研修大会	すべての人が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現をめざして	ウエル戸畑	北九州市	1
7	1	16	マネジメント研修	実習指導を通じた保育の質の向上と組織マネジメント3回目	アートホテル小倉ニュータカワ	北九州市保育士会	1
		16	九州北部保育会青年部合同会議	保育DXについて	駅前不動産スタジアム記者室	佐賀県保育会	1
		17					1
		23	食育・アレルギー研修	食育計画の作成と活用	ウエル戸畑	北九州市社会福祉研修所	1
		24	食育・アレルギー研修	食物アレルギーの基礎	web (ZOOM)	北九州市社会福祉研修所	1
		29	保幼小連携研修会	幼保小の連携・接続と架け橋プログラムを実現させるために	web	北九州市	1
		29	北九州市・福岡県・福岡市青年保育者合同研修会	こどもをまもり、園をまもる～これからの施設運営の在り方をさぐる～	アートホテル小倉ニュータカワ	北九州市私立保育連盟青年会議	1
		30					1
		30	食育・アレルギー研修	保育所における食事の提供ガイドライン	ウエル戸畑	北九州市社会福祉研修所	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
7	2	9	北九州市保育士研究 研修会	子どもに視点をあて た保育であるために はーいま私たちに求 められる保育の専門 性ー	web	北九州市保育 士会	
		18	保育所給食献立帳票 の変更等に関する説 明会	北九州市保育所統一 献立について	ウエル戸畑	北九州市	1
		18	九州保育三団体青年 部協議会セミナーin 鹿児島市	幼児期における虐待 と乖離減少について	ホテルレク ストン鹿児 島2階サル ビア	鹿児島市保育 園協会青年部	1
		20	第三回子どもの言葉 を豊かにする研究研 修会	4歳児言葉の調査（1 年間の調査結果を基 に）	アートホテル小倉 ニュータカリ	北九州市保育 士会	1
		21	第3回献立伝達研修会	実習献立説明・調理 実習・試食・評価	ウエル戸畑	北九州市	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加 人数
6	4	10	園内研修	書類の書き方、提出期限、提出方法について	16
		30	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	16
	5	10	園内研修	AEDの使い方	17
		28	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	16
	6	4	園内研修	保護者対応について・運動会話し合い	16
		25	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	18
	7	17	園内研修	楽器の使い方、人間力	16
		27	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	22
	8	6	園内研修	自己評価について	19
		23	研修報告会議	研修報告を行う	18
		27	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	17
	9	13	園内研修	衣装について	18
		27	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	20
	10	25	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	18
		16	園内研修	人権について	15
	11	18	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	17
		26	園内研修	保育目標について	15
	12	-	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	-
		24	園内研修	お店屋さんごっこの品物提案・作成	18
7	1	14	園内研修	みんなで遊ぼう	16
		22	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	19
	2	8	園内研修	発達の目安について (0/1/2/3歳児)	19
		-	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	-
	3	4	園内研修	発達の目安について (4/5/ANNEX)	19
		25	ケース検討会議	気になる子どもについての討議 振り返り、まとめ	18

※リーダー会議：随時

職員会議：月1回

(2) 利用状況

ア 園児の入所状況

(単位：人)

(ア) 認定こども園ICHIGO

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数	25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293
在籍児童数	以上児	53	53	53	53	53	52	52	52	52	52	52	629
	1号	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
	満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未満児	27	28	28	29	30	30	31	31	34	34	34	370
	合計	97	98	98	99	100	99	100	103	103	103	103	1,203
新入園児	以上児	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	未満児	2	1	0	1	1	1	0	3	0	0	0	10
	合計	13	1	0	1	1	1	0	3	0	0	0	21
退所園児数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2

(イ) ANNEX ICHIGO

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数	25	24	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	294
在籍児童数	未満児	15	15	16	16	16	16	17	17	18	19	19	203
	合計	15	15	16	16	16	16	17	17	18	19	19	203
新入園児	未満児	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	6
	合計	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	6
退所園児数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

イ 延長保育利用児童数 (保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00) (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一日平均実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 延長保育利用児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	21	23	23	23	22	25	25	25	25	25	24	22	23.6
一日平均実利用数	8.7	10	8.7	7.8	5.2	8.7	8.8	8.5	7.2	8.6	7	6.8	8.0

エ 一時保育利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間利用人数	1	0	3	2	10	3	4	0	1	0	0	0	2.0

オ 見学者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間人数	4	6	8	2	7	6	12	8	7	4	3	0	5.6

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

1 件

- ・行事、担任発表の時期、受け入れ方法、アンケートについて
→子ども施設企画課へのメールで発覚し、対応済み。

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容 (単位：人)

内容	事故	ICHIGO インシデント	ANNEX インシデント	合計
噛みつき	0	8	0	8
打撲	3	136	17	153
擦り傷	0	56	6	62
切り傷	1	15	3	18
挟み傷	0	24	3	27
ひっかき傷	0	37	7	44
その他	4	10	0	10
合計	8	286	36	322

※ 事故～病院受診したもの
インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
6	5	30	脱臼	外傷性歯の 亜脱臼	特になし/でぐち歯科・こども歯科
	6	10	打撲	頭部打撲傷	特になし/あらがき脳神経外科医院
	9	2	打撲	外傷性歯 の打撲	特になし/でぐち歯科・こども歯科
	9	24	脱臼	左小児肘 内症	特になし/おおた整形外科
	9	30	その他	食道異物	特になし/永犬丸小児科
	10	23	打撲	左頬部打 撲	特になし/ しゅくり整形外科クリニック
	11	2	切り傷	下口唇挫 創	3針縫合/ だざい皮膚・形成外科クリニック
		19	脱臼	左小児肘内 症	特になし/おおた整形外科

(5) 令和6年度事業計画の達成度

ア 平成令和6年度基本方針に関して

令和5年度に引き続き、(ア)利用者の側に立つサービスの提供、(イ)地域に根差す施設づくり、(ウ)事業の展開を支える機能の強化と職員育成・業務の見直し(エ)「認定こども園 ICHIGO」「ANNEX ICHIGO」「ANNESSO ICHIGO」の連携を徹底(オ)「幼児教育・保育の無償化に伴い、公定価格(運営費)の計算方法の見直しなど情報収集に努めると掲げ、地域交流など達成できていない部分はあるが、おおむね達成できた。

イ 令和6年度事業内容に関して

(ア)「利用者の側に立つサービスの提供」について

施設見学については、園内で希望者すべてを断ることなく希望や予定を合わせ、受ける入れることができた。

ケガ等の際の保護者への対応の見直しについては、会議などで周知し、園内研修を通して帳票と共に説明して大きな事故もなく見直しできた。だが、ケガについては永遠の課題になるので今後も気を付けていきたい。

職員と保護者のコミュニケーションの強化と子ども、保育の様子を知らせるため(SNS、写真)など使用し、伝えることができた。

課外教室の充実については今後も保護者ニーズにあったものを増やしていきたい。

(イ)「地域に根差す施設づくり」について

認定こども園 ICHIGO 及び ANNEX ICHIGO 周辺の市所有の花壇のサポートを継続的におこなっている。

主任を中心に地域の方との交流や活動をすることができた。

HP(ホームページ)やSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)については、保護者向けの行事などの発信することができた。

各クラスの老朽化した場所の修繕などについては、多少行うことができたが、業者の働き手不足で来年度への持ち越しもあるため、次年度からも中長期に計画し行っていこうと思う。

リクルートサイトのリニューアルすることができた。来年度もパンフレットなど継続して見直しはおこなっていく。令和7年度にはサテライトサイトを立ち上げSEO(検索エンジンの最適化)を行う。

(ウ)「事業の展開を支える機能の強化」について

職員の資質の向上については、クラスリーダー、中堅保育士、各分野別リーダーの育成を重点的に行うことで、広い視野で保育士の役割を考え、職員ごとに適

切な役割を担えるように指導を行うことができるようになった。

働きやすい職場づくりに関しては、会議等で建設的で活発な意見交換ができる場の設定や、必要な休暇を取りやすい職場づくり等を心掛けて、職場環境整備に努めたが今後もずっと課題である。

常に「子どもの人権」を念頭に置き、虐待防止の意識の徹底、保護者の理解と協力の促進に努めた。

個人情報の管理の徹底、守秘義務の厳守については、職員指導を強化した。特に個人情報の管理は、保護者にも適切な理解と協力を求める必要があり、丁寧な説明を行い、同意を得ながら漏えい事故防止に努めた。また、今後も情報管理の安全性に関して、危機感を損なわず慎重に対処していける職員を育成していきたい。

（保護者向け連絡ツール）きつずノートについては、定着している。

感染症については、確実な検温の徹底、玄関での子どもの受け入れの徹底、各クラスの換気の実施、消毒の徹底、濃厚接触の特定、部分休園の対応、保護者対応、職員対応など前年に比べスムーズに行うことができた。

(エ) 「認定こども園 ICHIGO」、「ANNEX ICHIGO」及び「ANNESSO ICHIGO」の連携について

「認定こども園 ICHIGO」、「ANNEX ICHIGO」については連携を図ることが出来ている。

5 ANNESSO ICHIGO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
6	4	1	辞令交付式	4月1日付採用職員に対する辞令交付式
6	8	9	ANESSO ICHIGO 指導監査	北九州市子ども家庭局による実地指導監査

イ 行事

年	月	日	行事	内容
6	4	1	入園進級式	園児のみ
		18	春の遠足	三ヶ森4丁目公園に行き、園内に戻り弁当を食べた
	5	25	保育参観	1歳児 制作（ぽっとな落とし） 2歳児 制作（糸電話作り） 両クラスとも試食会を行う。
	6	13	園児対象健康 診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 0歳児・1歳児・2歳児の健康診断を行う
	7	5	七夕まつり 笹飾り	七夕の由来を説明し、笹飾りに願い事をした。
	8	3	運動会ごっこ	保護者参加 室内でかけっこや運動遊びを行った
	9	13	水かけまつり	園のグリーンマット（室外）にて、水かけまつりをする
	10	12	秋の遠足	三ヶ森4丁目公園に行き、ICHIGO・ANNEXの2歳児とともに遊ぶ。園内に戻り一緒に弁当を食べた
	10	31	ハロウィン パーティ	絵本を見た後、新聞紙でかぼちゃを作る。クマ役の職員にお菓子をもらったのち、踊りを踊って楽しんだ
	11	9	お遊戯会	クラス入れ替え制で全クラス行う。
		15	七五三	七五三の由来を聞き、飴を持って帰った

年	月	日	行事	内容
6	11	20	焼き芋	2歳児が電車を使い、ICHIGOまで行き焼き芋を食べて楽しむ
	12	25	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行った。
7	1	24	ICHIGOキッズ フェスティバル	カレー・ポテト・お茶・ジュース・ワニワニパニック・くじ・わなげなど、祭り気分を味わう
	2	1	節分（豆まき）	全園児が各クラスで豆まきをした
		12	クッキング （2歳児）	ホットケーキをホットプレートで焼いて、型抜きをして食べた
		—	個人懇談	希望制にて懇談を行う
	3	3	ひなまつり	パネルシアターを楽しんだあと、小道具を持ちお雛様・お内裏様になりきって写真撮影を行う。
		19	お別れ会	在園児と卒園児とのお別れ会を行った
		29	修了式	在園児の修了証書授与式を行った

※定例行事

毎月1回実施 避難訓練・誕生会

毎週2回 リーダー会議 毎月1回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

ウ 地域交流等

(ア) ボランティア・一日保育士体験

年	月	日	行事	内容
なし				

(イ) 実習生

なし

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
6	6	25	保健衛生・安全 対策研修	保健計画の作成と活用	web(ZOOM)	北九州市社会 福祉研修所	1
	7	8	保健衛生・安全 対策研修	事故防止及び健康安全 管理	web(ZOOM)	北九州市社会 福祉研修所	1
		10	保健衛生・安全 対策研修	保育所における感染症 対策ガイドライン	web(ZOOM)	北九州市社会 福祉研修所	1
		25	令和6年度第1 回地域型保育事 業等給食担当者 研修	鉄分強化メニューの展 開・熱中症予防と水分補 給	ウエルとばた	北九州市	1
7	1	23	食育・アレル ギー研修	食育計画の作成と活用	ウエル戸畑	北九州市社会 福祉研修所	1
		24	食育・アレル ギー研修	食物アレルギーの基礎	web(ZOOM)	北九州市社会 福祉研修所	1
		30	食育・アレル ギー研修	保育所における食事の 提供ガイドライン	ウエル戸畑	北九州市社会 福祉研修所	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加 人数
6	4	12	園内研修	書類の書き方、提出物の期限、提出方法	5
	5	1	園内研修	おみせやさんごっこの物品提案	4
	6	5	園内研修	運動会について	4
	7	30	園内研修	保護者対応について	5
	8	3	園内研修	自己評価について（回覧及び記入）	4
	9	17	園内研修	お遊戯会について	4
	10	15	園内研修	人間力について	4
	11	21	園内研修	ICHIGOキッズフェスティバルについて	4
	12	26	園内研修	人権について	5
7	1	14	園内研修	来年度の行事について	5
	2	21	園内研修	発達の目安（生活面・遊び）	5
	3	18	園内研修	年度の振り返り、新年度の計画	5

(2) 利用状況

ア 園児の入所状況

(単位：人)

(ア) ANNESSO ICHIGO

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数		25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293
在籍児童数	未満児	12	12	13	14	15	15	16	16	19	19	19	19	189
	合計	12	12	13	14	15	15	16	16	19	19	19	19	189
新入園児	未満児	0	0	1	0	1	0	1	0	3	0	0	0	6
	合計	0	0	1	0	1	0	1	0	3	0	0	0	6
退所園児数		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	7

イ 延長保育利用児童数（保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00）

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一日平均実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	インシデント	合計
噛みつき	0	4	4
打撲	1	24	25
擦り傷	0	19	19
切り傷	0	2	2
挟み傷	0	1	1
ひっかき傷	0	13	13
その他	0	8	8
合計	1	71	72

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
6	8	5	打撲	外傷性歯の打撲	特になし/えいのまる小児歯科

(5) 令和6年度事業計画の達成度

ア 平成令和6年度基本方針に関して

(ア) 利用者の側に立つサービスの提供、(イ) 地域に根差す施設づくり、(ウ) 事業の展開を支える機能の強化 (エ) 連携施設との連携計画を掲げたが、達成できていない部分があるがおおむね達成できた。

イ 令和6年度事業内容に関して

(ア) 「利用者の側に立つサービスの提供」について

施設見学については、希望者すべてを断ることなく希望や予定を合わせ、受ける入れることができた。

(イ) 「地域に根差す施設づくり」について

HP（ホームページ）やSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）については、保護者向けの行事などの発信することができた。

(ウ) 「事業の展開を支える機能の強化」について

働きやすい職場づくりに関しては、会議等で建設的で活発な意見交換ができる場の設定や、責任者を中心に必要な休暇を取りやすい職場づくり等を心掛けて、職場環境整備に努めたが今後もずっと課題である。

常に「子どもの人権」を念頭に置き、虐待防止の意識の徹底、保護者の理解と協力の促進に努めた。

個人情報の管理の徹底、守秘義務の厳守については、職員指導を強化した。特に個人情報の管理は、保護者にも適切な理解と協力を求める必要があり、丁寧な説明を行い、同意を得ながら漏えい事故防止に努めた。また、今後も情報管理の安全性に関して、危機感を損なわず慎重に対処していける職員を育成していきたい。

5 認定こども園 SAKURANBO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	行 事	内 容
6	7	10	監査	北九州市保健福祉局総務部一般指導監査による書面監査を受けた

イ 行事

年	月	日	行 事	内 容
6	4	1	入園進級式	保護者も参加して入園進級式を行った
		25	健康診断	嘱託医：西野小児科医院長西野裕先生による、0歳～5歳児までの健康診断を受けた
		26	春の遠足	3か所に分かれて春の遠足を行う
	5	23	シルエット劇場	若松市民会館にて年長児がシルエット劇場を観劇する
		27	保育参観 給食試食会	27日～30日の5日間、保育参観と給食試食会に保護者が参加する
	6	3	芋苗植え	3・4・5歳児と理事長、職員で芋の苗300本を植えた
		21 22	お泊り保育	5歳児が保育教諭と一緒に園でお泊りをする
		26	歯科検診	4・5歳児が園医による歯科検診をうけた
	7	5	七夕集会	七夕の由来を聞き、七夕飾りを披露する
		6	SAKURANBO フェスティバル	保護者と一緒にくじやゲーム、レストランコーナーなどの催し物を楽しんだ
		10	プール開き	水遊びやプール遊びでの約束事を聞いた
		25	一日保育士体験	本城小の職員4名が保育士体験、給食試食をする
	8	3	卒園児同窓会	小学1年から3年生までの卒園児を招待して遊び、カレーを食べた
		23	プール納め	全園児で水遊びやプールを楽しんだ
	9	13	運動会リハーサル	3・4・5歳児の運動会リハーサルを行った
		28	運動会	3・4・5歳児が本城小学校の体育館で運動会を行った

年	月	日	行 事	内 容
6	10	1	運動会ごっこリハーサル	0・1・2歳児の運動会ごっこのリハーサルをした
		5	運動会ごっこ	0・1・2歳児が保護者と一緒に運動会ごっこに参加した
		18	秋の遠足	2・3・4・5歳児はバスに乗って園外保育にでかけ、0・1歳児は園周辺を散策した
		24	園児健康診断	園医の西野小児科による健康診断を受けた
	11	6	焼き芋	収穫した芋を使って焼き芋をして食べた
		9	本城市民センター文化祭	4・5歳児が作品を展示した
		21 22	お遊戯会リハーサル	演目内容や衣装などを確認しながら行った
		29	お遊戯会通しリハーサル	プログラム順にリハーサルを行う
	12	3 4	お遊戯会 DVD撮影	お遊戯会の演目を事前撮影をした
		7	お遊戯会	保護者の前で生活や遊びの中で育んできた様々なことを披露した（全園児）
		17	ギラヴァンツサッカー指導	ギラヴァンツのコーチによるスポーツ体験（4.5歳児）
		24	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行った
7	1	21	ギラヴァンツサッカー指導	ギラヴァンツのコーチによるスポーツ体験（4.5歳児）
		24	お店屋さんごっこ	全園児で、お店屋さんごっこを楽しんだ
	2	3	節分	節分の由来を知り、テラスで豆まきをした
		8	保育参観	日頃の保育の様子を保護者に見てもらった
		23	おひらきフェスタ	年長児が、鍵盤ハーモニカ演奏とと遊戯を披露した
		25	お茶会	櫻井先生の指導の下、年長・年中がお茶会に参加した
		26	クッキング	年中児が餃子の皮でピザを作って食べた
	3	3	ひな祭り	ひな祭りの由来を知り、全園児でお祝いした
		4	クッキング	年少児がりんごジャムを作り食べた

年	月	日	行 事	内 容
7	3	7	お別れ遠足	年長児がバスに乗ってマリンワールドに行った
		15	卒園式	年長児21名と保護者とで卒園式を行った
		22	お別れ会	年長児へ各クラスが出し物を披露し、バイキング形式で食事した
		26	クッキング	年長児がカレーを作り食べた
		28	修了式	修了証書授与式を行い、進級する喜びを知る

(ア) 定例行事

毎月1回実施 避難訓練・誕生会

毎月4回実施 硬筆・英語で遊ぼう・体操教室

毎週3回 リーダー会議 毎月1回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

(イ) 地域交流

a 一緒に遊びましょう 5月～2月、月1回実施 (未就園児対象)

b 園庭解放 (利用者なし)

c 絵本の貸し出し (中止)

d 本城小学校学校行事 (園長のみ参加)

e 1日保育士体験 (本城小学校教諭5名参加)

f 市民センター文化祭 (4.5歳児作品のみ展示)

g おひらきフェスタ (5歳児のみ出演)

(ウ) 家庭学級 (積雪の為中止)

(エ) 子育て支援(本城市民センター)

a 子育て支援フリースペース (未就学児対象)

* R6.4月とR6.12月のさくらんぼ広場への参加

(オ) 実習生

a 保育実習 8月 (1名) 2月 (1名)

b 看護実習 5月 (5名) 6月 (5名)

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
6	4	22	子どもの言葉を豊かにする研究研修会	4歳児の言葉について	アートホテル小倉 ニュータカガリ	北九州市保育士会	1
		6	実習指導担当者研修会	実習生の受け入れについて	アートホテル小倉 ニュータカガリ	北九州市保育士会	1
	5	17	新任保育士研修	職務の理解	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	2
		21	乳児保育研修	乳児の発達に応じた保育内容	クラウンパレス小倉	北九州市保育士会	1
		27	乳児保育研修	乳幼児の発達	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		29	リーダー研修	防災について BCP作成と備え	ステーションホテル	北九州市保育士会	1
		30	乳児保育研修	子どもの健康	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		4	主任級保育士研修	児童虐待の現状と園の役割	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
	6	11	乳児保育研修	乳児の食育と栄養	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		18	乳児保育研修	乳児保育の意義	アートホテル小倉 ニュータカガリ	北九州市保育士会	1
		19	新任保育士研修	保育士の役割と求められること	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	2
		20	主任保育士研修会	情報・意見交換	筒井市民センター	八幡西に保育士会	1
		25	保健衛生・安全管理研修	事故防止及び健康安全 安全管理	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		26	乳児保育研修	乳児保育の環境と保育計画	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		28	主任級保育士研修	主任保育士の力量を高める	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		8	保健衛生・安全管理研修	保育者の防災意識を高める	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
	7	10	保健衛生・安全管理研修	保育所における感染症対策	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		24	第1回給食献立伝達研修	中期献立伝達等	ウエルとばた	北九州市	1
		26	主任級保育士研修	保護者支援・家庭支援を考える	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		29	相談員研修	電話相談事例	クラウンパレス小倉	北九州市保育士会	1
		31	障害児保育研修	障害児保育の現状	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
6	8	8	障害児保育研修	感覚統合について	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		20	給食部会	献立決め	筒井市民センター	八幡西保育士会	1
		26	実習指導担当者研修会	実習生の受け入れについて	アトナル小倉ニューカブリ	北九州市保育士会	1
	9	4	障害児保育研修	事例検討にあたって	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		4	第32回福岡県保育協議会保育士研修研究大会	基調報告・記念講演	ソラリア西鉄ホテル	福岡県保育協議会	1
		10	子どもの言葉を豊かにする研究研修会	6月の調査報告・事例発表	レインボープラザ	北九州市保育士会	1
		12	保護者支援・子育て支援研修	保護者・子育て支援の意義	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		19	保護者支援・子育て支援研修	保育のリスクを考える	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		20	職員研修会	マジックと音楽と絵本	こどもの館	八幡西保育士会	2
	10	23	わらべうた研修	年齢にあったわらべうた	筒井市民センター	八幡西保育士会	3
	11	3	第62回北九州市保育研修大会	基調報告・記念講演	北九州ツインホテル	北九州市保育士会	
		11	第2回給食献立研修	後期予定献立	ウエルとばた	北九州市	1
		15	第48回保育所等における食事に関する研究研修会	実践報告・講演	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
		20	施設長研修	フローマネジメント	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
	12	5	給食部会	献立反省・情報交換	筒井市民センター	八幡西保育士会	1
		16	保護者支援・子育て支援研修	相談支援の方法と技術	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		18	保育所（園）調理員研修	子どもの食育と栄養	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		19	第62回北九州市保育研修大会施設長特別研修	保育行政について	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
7	1	20	新任保育士研修	働きやすいところ	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	2
		16	実習指導担当者研修会	組織マネジメント	アトナル小倉ニューカブリ	北九州市保育士会	1
		23	食育アレルギー研修	食育計画の作成と活用	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		24	食育アレルギー研修	食育アレルギーの基礎	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
7	1	30	食育アレルギー研修	栄養に関する基礎知識	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
	2	7	第42回北九州市保育士研究研修大会	活動報告・記念講演	w e b 研修	北九州市保育士会	1
		13	第3回給食献立研修	乳幼児期における生活習慣病予防	ウエルとばた	北九州市	1
		20	子どもの言葉を豊かにする研究研修会	4歳児の言葉について	アートホテル小倉ニュータカリ	北九州市保育士会	1
		27	給食部会	献立反省・1年のふりかえり	筒井市民センター	八幡西保育士会	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加人数
6	4	17	園内研修	園でのルール・ヒヤリハット	13
		24	ケース検討	気になる子どもについての討議	15
	5	15	園内研修	不適切保育について	15
		28	ケース検討	ケース検討	10
		28	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（4月～5月分）	10
	6	7	園内研修	不適切保育について	13
		14	園内研修	みんなで遊ぼう（職員レクリエーション）	11
		24	ケース検討	気になる子どもについての討議	9
		24	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（5月～6月分）	9
	7	10	園内研修	ヒヤリハット・にやりほっと	11
		26	ケース検討	気になる子どもについての討議	10
	8	9	園内研修	わらべうた・手遊び	11
		27	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		27	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（6月～7月分）	11
	9	6	園内研修	保護者対応について	9
		25	ケース検討	気になる子どもについての討議	12
		25	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（9月分）	12
	10	9	園内研修	音楽研修	12
		31	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		31	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（9月～10月分）	11
	11	6	園内研修	人権について（SNS・LGBTについて）	10
		26	ケース検討	気になる子どもについての討議	12
		26	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（11月分）	12
	12	11	園内研修	年長児と遊ぼう	8
		25	ケース検討	気になる子どもについての討議	10
		25	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（11月～12月分）	10
7	1	9	園内研修	発達の日安について	12
		28	ケース検討	気になる子どもについての討議	10
		28	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（12月～1月分）	10
	2	5	園内研修	園でのルール再確認・ヒヤリハット	12
		26	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		26	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（1月分）	11
	3	6	園内研修	今年度のふりかえり・次年度の計画	12
		11	ケース検討	気になる子どもについての討議	10
		11	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（2月分）	10

※リーダー会議：随時

職員会議：月 1 回

(2) 利用状況

ア 園児の入所状況

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
在籍児童数	以上児	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	588
	1号	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
	満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未満児	39	39	39	41	41	41	41	42	43	44	45	501
	合計	103	103	103	105	105	105	105	106	107	108	109	1,269
新入園児	以上児	4											4
	未満児	8			2				2	1	1	1	16
	合計	12			2				2	1	1	1	20
退所園児数							1						1

イ 延長保育利用児童数（保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00）

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一日平均実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 延長保育利用児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	20	19	19	18	18	18	18	19	21	21	20	20	19.25
一日平均実利用数	5.4	5.5	5.4	6	3.4	5.1	5.4	7.1	8.1	7.7	7.5	6.7	6.1

エ 一時保育利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間利用人数	2	4	7	7	11	8	22	12	14	6	9	8	9.1

オ 見学者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間人数	1	5	7	9	7	9	15	8	6	8	4	2	6.75

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	インシデント	合計
噛みつき	0	13	13
打撲	1	55	56
擦り傷	0	49	49
切り傷	0	10	10
挟み傷	0	5	5
ひっかき傷	0	30	30
その他	4	12	16
合計	5	174	179

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
6	5	8	その他	左母趾挫創	整形外科受診 経過観察後治癒
	7	12	その他	外傷性歯の脱臼	歯科受診 経過観察後治癒
	8	3	その他	外傷性歯の脱臼	歯科受診 経過観察中
	11	1	打撲	眼球打撲症	眼科受診 経過観察後治癒
	12	19	その他	外傷性歯の亜脱臼	歯科受診後 経過観察後治癒

(5) 令和6年度事業計画の達成度

ア 令和6年度基本方針に関して

令和6年度は、前年度に引き続き、(ア)利用者の側に立つサービスの提供、(イ)地域に根ざす施設づくり、(ウ)事業の展開を支える機能の強化、を掲げた。その中で、感染症には気を付け保育や行事について見直しながら取り組み、進めていきました。また、認定こども園 SAKURANBO に移行して3年、ICHIGO と連携して保育・行事・運営を進めたが、徐々に軌道にのってきた。

イ 令和6年度事業内容に関して

(ア)「利用者の側に立つサービスの提供」について

令和6年度は、感染症に気を付けながらも少しずつ以前の様子にもどりつつあり、その中でも常に「子どもの人権」、「個人情報保護」を意識し、職員の言葉遣いや態度などに配慮し、守秘義務の遵守についての努力を継続した。

また、保育実践についても、感染症対策をとりながら、年齢別に保育計画、指導計画、及び個別計画を作成し、成長に応じた適切な保育を行った。

特に、園行事に関しては、感染症対策をとりながらも、徐々にもとに戻しつつ、保護者にアンケートを実施し、保護者のニーズを把握しながら、行事に活かしていくことができるように努めた。

また、職員の質的向上を目指し施設内外での研修に、またオンラインでの研修に、積極的に参加させることで、実践に必要な知識・技術の習得と充実に努めた。

また、処遇改善に伴うキャリアアップに伴い、クラスのリーダー、中堅保育教諭、各分野別リーダー、の育成を重点的に行うことで、広い視野で保育士の役割を考え、職員ごとに適切な役割を担えるように指導を行うことができるようになった。

3歳以上児の保育の無償化に伴い、給食を主食も提供する完全給

食にしたが、子どもたちには温かいご飯が食べられる、保護者には朝の忙しい時間助かる、と好評である。

さらに、統合保育（気になる子どもの対応）については、北九州市立総合療育センター地域支援担当保育士の指導を受けながら、子どもの個性を活かしながら、まわりの子どもたちとの関係構築を行うことで、楽しく保育園生活を送ることができるように心がけた。

各種園だよりを活用して、広く地域に子育て情報を発信したり、未入園児の保護者からの相談を受けたりするなど、子育て支援に取り組み、今年度は行ったものの参加が少なかった。

また、菜園活動で、季節の野菜を育て収穫して食べたり、保護者へのレシピの紹介、アレルギーの子どもへの除去食の提供など、食育にも力をいれた。

天候に左右されず遊べるデッキを日々有効利用し、子どもたちがのびのび遊ぶ姿を保護者に紹介したところ、楽しそうに遊んでいると保護者にも喜ばれている。また0、1、2歳児の運動会ごっこもデッキで行なっているが、見やすく応援しやすいと好評だった。

苦情・意見・要望については、その都度、保護者と話し合い、解決していくように努めた。その学びを活かした保護者対応を心がけ、意見や苦情につながるような事例はなかった。今後も継続して、子ども、保護者の様子の変化等を敏感に察知できる能力を向上させ、かつ、速やかな対応に努めていく。

新型コロナウイルス感染症の流行で、子どもも職員も、消毒、手洗い、マスク着用等衛生面には十分注意しながら、体調管理にも気をつけた。また北九州市からの衛生管理マニュアルを職員間で回覧し、周知徹底している。

（イ）「地域に根ざす施設づくり」について

「幼・保・小連携」の一環として、小学校教師による一日保育士体験は、令和6年度、本城小学校の校長先生を始め、4人の先生方に参加していただき、連携に努めた。

毎年、地域の文化祭や敬老祝賀会では芸能出演の依頼を受け、年長児が歌やダンス、楽器演奏などを披露し、高齢者からあたたかい拍手を浴びたことで、勇気と自信につながる貴重な体験をすることができていたが、今年度はR7.2月にあった「御開フェスタ」で披露することができた。

高齢者施設「風の家」との交流については、利用者に七夕飾りを贈りまた、敬老の日のプレゼントは年長児が、小物入れを作って渡し喜ばれた。

今後も、行事を中心とした同施設や地域の年長者との交流、「幼・保・小連携」を、園児の心の育ちや学びに活かしていきたい。

また、未入園児を対象とした「一緒に遊びましょう」は、地域に周知され、今年度 10 月から再開したが、参加は少なかった。本城市民センターの未入園児による「さくらんぼ広場」には職員を派遣して、子育て支援と地域交流をしている。

(ウ)「事業の展開を支える機能の強化」について

令和 6 年度はすべての面で、保育の目標を達成するために、基本となる、保育理念・保育方針・保育目標に基づいた実践を行い、さらに、保育内容の自己評価及びこれに基づく改善に努めた。

職員の質の向上に向けては、子供の保育及び、保護者に対して保育に関する助言が、適切に行えるように、自己評価に基づく課題等を踏まえ、できるだけ保育園内外の研修を受講させた。

研修内容は、報告会議等の場で共有する環境を設けることで、知識を共有し職員全体の意欲向上も図った。

今後とも、有意義な研修を、計画的効果的に活用していきたい。令和 4 年 4 月より、「認定こども園 SAKURANBO」に移行したので、今後も姉妹園の「認定こども園 ICHIGO」と連携して、養護と教育・職員の資質向上にむけて積極的に取り組んでいきたい。

6 かぜの子保育園

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
6	4	27	防災	避難・通報訓練
	5	9	健康管理	園児健康診断
		21	防災	高潮の際の避難
		28	防災	避難・初期消火訓練
	6	25	防災	避難・初期消火訓練
	7	5	防災	避難・通報訓練
		17	防災	地震避難訓練
			健康管理	園児歯科健康診断
	8	5	防災	避難・通報訓練
	9	11	防災	避難・通報訓練
	10	16	防災	避難・通報訓練
	11	6	防災	避難・通報訓練
7	12	4	防災	避難・通報訓練
	1	8	防災	避難・通報訓練
	2	12	防災	避難・通報訓練
	3	5	防災	避難・通報訓練

イ 行事

年	月	日	項目	内容
6	4	17	進級式	特別メニューとお祝いイベント
		27	お楽しみ会	特別メニューとお祝いイベント
	5	27	誕生会	特別メニューとお祝いイベント
	7	5	七夕会	季節の催事を体験する
		22	水遊び初めの会	季節の遊びを楽しむ

年	月	日	項目	内容
6	9	13	敬老の日	敬老の意味を知る
		18	誕生会	特別メニューとお祝いイベント
	10	23	誕生会	特別メニューとお祝いイベント
		26	ハロウィン	ハロウィンの風習を楽しむ
	11	20	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント
	12	25	クリスマス会	季節の催事を体験する
	1	22	誕生会	特別メニューとお祝いイベント
7	2	3	節分	折尾神楽保存会による豆まき
	3	3	ひな祭り	季節の催事を体験する
		19	誕生会	特別メニューとお祝いイベント
		28	お別れ式	転園児童とのお別れ

※誕生会：毎月（該当児童がいない場合はお楽しみ会）

※職員会議：毎月1回

ウ 地域交流（0件）

年	月	日	概要	内容
なし				

（2）施設の利用状況（利用定員19人）

ア 在籍園児数（月初時点）

（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
在籍園児数	5	5	8	7	6	11	13	13	13	13	14	14	122	10.2
うち地域枠	1	1	2	2	1	3	4	4	4	4	5	5	36	3
うち連携企業枠	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	38	3
うち自社枠	2	2	4	3	3	4	5	5	5	5	5	5	48	4

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入園児数	2	1	2	0	0	5	3	0	0	1	0	0	14	1.2
退園児数	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0.3

※退園理由：幼稚園に転園16名・大規模保育園に転園1名

イ 年齢別平均在園児数

(単位：人)

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
在園児数	4.4	4.1	1.7	0.0	0.0	0.0	10.2

ウ 一時預かり事業利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
のべ利用児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

エ 延長保育事業利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
のべ利用児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいたご意見

なし

(4) 事故報告

ア 総件数 (単位：件)

分類	件数
事故総数	41
うち損害あり	36
うち行政報告あり	0

ウ 事故結果 (単位：件)

内容	件数
死亡	0
意識不明	0
打撲・発赤	29
骨折	0
火傷	0
創傷	2
口腔内受傷	3
その他	2
異常なし	5
計	41

イ 事故の内容・誘因 (単位：件)

内容	インシデント	事故	計
死亡	0	0	0
遊具等からの転落・落下	0	0	0
自らの転倒・衝突	22	0	22
子ども同士の衝突	7	1	8
玩具や遊具等の安全上の不備	0	0	0
他児からの危害	0	0	0
アナフィラキシーショック	0	0	0
溺水	0	0	0
その他	8	3	11
計	37	4	41

エ 行政報告事故の詳細

なし

(5) 令和6年度事業計画の達成度

ア 令和6年度基本方針に関して

(ア)「保育の質の向上」について

6月より株式会社アイグランへ保育委託となったが、アイグランとも「基本理念の理解、共有」を重要な課題として位置づけ、実践できるよう取り組み続けた。また、職員間で子どもや保護者の情報を細かく共有し、日々の保育につなげる環境づくりを図った。

(イ)「保護者対応の充実」について

子どもの様子をこまめに報告し、また、家庭での様子を保護者と共有することによって、より良い信頼関係を築くよう取り組み続けた。

(ウ)「地域の子育て支援」について

地域枠の利用者の受け入れによって少しは貢献できた。新型コロナウイルス感染症も5類となったが、園内での感染・感染拡大を防ぐことを考え、新たな取り組みをすることはできなかった。

イ 令和6年度事業内容に関して

(ア)「質の高い保育を実践」について

- a アイグランとの定例会等を通して、保育現場での様々な課題を共有し、解決、発展させることができた。
- b 子どもの個性や発達を共有し、それぞれに応じたきめ細やかな保育の実践に取り組むことができた。自らが受容されることで、自他ともに肯定できる子どもの姿を目指し、継続して取り組んでいく。

(イ)「保護者との連携・支援」について

- a 連絡帳を通して、園からの情報を分かりやすく伝達することができた。
- b 担当保育士を中心に、それぞれの家庭環境を考慮した子育て支援を心がけ、保護者と連携を図ることができた。引き続き、保護者との信頼関係の構築やコミュニケーションの充実に力を入れていきたい。

(ウ)「地域の子育て支援」について

- a 地域の方のための「子育て相談室」に関しては、コロナウイルス感染症など、感染症対策を第一としたため、実践することができなかった。

- b 連携企業という制度を地域の企業に知らせたり、企業と園をつなぐネットワークに参加したりし、育児休業等からの復帰や入社がスムーズにできるよう支援した。

(エ) 感染症対策について

- a 新型コロナウイルスだけでなく、他の感染症に対しても、保育課（現在子ども施設計画課）、児童育成協会、厚生労働省からの最新の情報にアクセスし、それらに基づく対策の整備を都度行い、感染症対策に努めることができた。
- b 子ども、職員共に体調管理を徹底し、しっかりと感染症対策を行いつつ、少しずつ保護者が参加できる行事を催していった。

事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人 薫風会

